








支出命令書



決裁日 28年9月6日

市長 ****	副市長 ****	教育長 ****	部長 ****	次長 ****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 ****	係長 ****	担当者 	入力 	財政課合議 ****		

所属	市議会事務局		起票日	平成28年9月6日	整理番号	2272-16
年度	平成28年度	会計	一般会計		予算区分	現年度予算
款	1	議会費			確認事項	確認
項	1	議会費			タイムカード(出勤簿)	
目	1	議会費			源泉徴収	
細目	4	議会調査研究事業			被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金			通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費				

金額	¥50,000	検収者	
----	---------	-----	---

控除額		支払方法	通常支払
債権者	登録No. 99999	支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手
	住所	金融機関	
	名称 公明党代表者 溝口 浩	支店	
	職氏名	預金種別	
		口座番号	
		伺残額	¥691,065
摘要	研究研修費	支払予定日	平成28年9月21日
	10/13~10/14 平成28年度堺泉北港地元港湾	支払明細整理番号	007
	振興会における産業都市合同視察参加負担金	請求書番号	

<p>上記の金額を領収しました日 平成28年9月21日 年 月 日</p> <p>泉大津市会計管理者 様</p> <p>住所</p> <p>名称</p> <p>氏名 公明党代表者 溝口 浩</p>	<p>収入印紙</p> 	<p>支出負担行為確認</p>  <p>支払済</p>
--	---	--











2016000227201162

泉大津市



28.9.6

供	議長	副議長	局長	次長	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	主査
覧								


別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成28年 9月 6日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名
代表者名

公明党
溝口 浩 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	50,000円		
内 訳	10/13~10/14 平成28年度堺泉北港地元港湾振興会における産業港湾都市合同視察 参加負担金		
支払先	泉大津港湾振興会		
予算科目	研究研修費	交付残額	691,065円
使用者名	大塚 英一		

泉港振第15号
平成28年8月22日

泉大津港湾振興会顧問
泉大津市議会臨海地域整備対策特別委員会副委員長
大塚 英一 様

泉大津港湾振興会
会長 伊藤 晴彦

平成28年度堺泉北港地元港湾振興会における
産業港湾都市合同視察の実施について（ご案内）

残暑の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、本振興会の事業運営に格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今年も他港の港湾施設等を視察し、今後の港湾振興の一助とするとともに、会員相互の親睦を図るため、下記のとおり堺港湾振興会、高石港湾振興会及び泉大津港湾振興会において産業港湾都市合同視察を実施いたします。

つきましては、ご多忙とは存じますがご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

- ① 視 察 先 富山県 伏木富山港 ほか
- ② 実 施 日 平成28年10月13日(木)～10月14日(金)
- ③ 参加負担金 50,000円
- ④ 申 込 方 法 別紙申込書により、9月2日(金)までにFAXでお申し込みください。
(申込先) 泉大津港湾振興会事務局
FAX [REDACTED]
- ⑤ 参加費振込先 銀行名 [REDACTED]
口座番号 [REDACTED]
口座名義 [REDACTED]

9月26日(月)までにお振込ください。

※ 参加申込をいただいた方には、後日詳細をお知らせします。

領 収 書

平成28年9月26日

大塚 英一

様

金50,000円也

ただし、平成28年度堺泉北港地元港湾振興会産業港湾都市合同視察費用として上記金額正に領収いたしました。

泉大津港湾振興会

事務局長

山並






典

正



支出命令書

決裁日 28年 9 月 12 日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所 属	市議会事務局		起票日	平成28年9月12日	整理番号	2272-17
年 度	平成28年度	会 計	一般会計		予算区分	現年度予算
款	1	議 会 費		確 認 事 項	確 認	
項	1	議 会 費		タイムカード(出勤簿)		
目	1	議 会 費		源 泉 徴 収		
細目	4	議会調査研究事業		被服貸与台帳記載		
節	19	負担金、補助及び交付金		通勤経路及び金額		
細節	45	政務活動費				
金 額	¥1,515-			検収者	印	
控除額				支払方法	通常支払	
債 権 者	登録No. 99999			支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手	
	住 所			金融機関		
	名 称 公明党代表者 溝口 浩			支 店		
	職氏名			預金種別		
				口座番号		
				伺 残 額	¥689,550	
摘 要	広報広聴費			支払予定日	平成28年9月28日	
	議会傍聴よびかけ隊チラシ(9月分)製作料			支払明細 整理番号	001	
	分担金			請求書番号		

上記の金額を領収しました。
平成28年9月28日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 公明党代表者 溝口 浩

収入印紙



支出負担行為確認



支 払 済











2016000227201171

泉大津市



28.9.12

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成28年 9 月 12 日

泉大津市長
伊藤晴彦 様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 公明党

代表者名

清口

浩 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	1, 515円		
内 訳	議会傍聴よびかけ隊平成28年9月購入分チラシ製作料分担金		
支払先	(株) キングプリンターズ		
予算科目	広報広聴費	交付残額	689,550円
使用者名	公明党		

議会傍聴よびかけ隊 平成28年9月購入分チラシ製作経費分担計算書

株式会社キングプリンターズ 大阪府大阪市西淀川区千船2-10-21
A4チラシ 3,000枚 8,586円(消費税込)①

① ÷ 議員数 8,586 円 ÷ 17 人 = 505.0588 円②

【分担額】

日本共産党 ② × 2人 =	1,010 円
市民トライネット ② × 2人 =	1,010 円
公明党 ② × 3人 =	1,515 円
おづ ② × 3人 =	1,515 円
市民クラブ ② × 3人 + 端数1円 =	1,516 円
立志会 ② × 2人 =	1,010 円
井阪 正信 ② × 1人 =	505 円
草刈 与志子 ② × 1人 =	505 円
合計	8,586 円

領収書

領 収 証

No. A 14837

泉大津市議会 様

平成28年9月5日

金額	百	千	円
		9	8586

チラシ製作 3,000部

注文番号: N-0093-9223

上記の金額正に領収いたしました

KINGprinters

現金	
小切手	
手形	
相殺	

株式会社 キングプリンターズ

〒555-0013 大阪府大阪市西淀川区千船2-10-21
TEL:06-6195-2365 FAX:06-6195-2361

取扱者

皆さんの 関心やお声は議会活性化の大きなチカラです。

泉大津市議会では、意見の違いを越えて、

議会と市民皆さんとの接点づくりを 全議員で進めています。

議会は意外とおもしろい

議会では、さまざまな提案があります。

対立することもあれば、意見が一致することもあります。

そうやって、まちの今と未来が創られています。

一度議会を覗いてみてください。そして、声を届けてください。

市議会は、どなたでも傍聴することができます。
傍聴を希望される方は、市役所 6 階傍聴席までお越しください。(定員 60 名)

また、議会開会中は、市役所 1 階ロビーのテレビで市議会の模様を放送しています。

インターネットによる議会中継の配信も実施中!! (生中継と録画放送)

ホームページのリニューアルも行いました。
ぜひご覧になってください。

泉大津市議会

検索

クリック

泉大津市議会

議会傍聴よびかけ隊



支出命令書

決裁日 28年9月15日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所属	市議会事務局		起票日	平成28年9月15日	整理番号	2272-18
年度	平成28年度	会計	一般会計		予算区分	現年度予算
款	1	議会費			確認事項	確認
項	1	議会費			タイムカード(出勤簿)	
目	1	議会費			源泉徴収	
細目	4	議会調査研究事業			被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金			通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費				
金額	¥20,000				検収者	印
控除額					支払方法	通常支払
債権者	登録No. 99999			支払区分	窓口払い	1.現金 2.小切手
	住所			金融機関		
	名称 公明党代表者 溝口 浩			支店		
	職氏名			預金種別		
				口座番号		
				伺残額		¥669,550
摘要	研究研修費			支払予定日	平成28年9月30日	
	10/6~10/7 第78回全国都市問題会議参加負担金			支払明細整理番号	001	
				請求書番号		

上記の金額を領収しました。
平成28年9月30日
年 月 日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 公明党代表者 溝口 浩

収入印紙



支出負担行為確認



支払済











2016000227201180

泉大津市



2016.10


供	議長	副議長	局長	次長	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	主査
覧								

別記様式第5号(第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成28年 9 月 15 日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 公明党
代表者名 溝口 浩 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	20,000円		
内 訳	10/6~10/7 岡山市 第78回全国都市問題会議参加負担金		
支払先	(株) JTB中国四国 岡山支店		
予算科目	研究研修費	交付残額	669,550円
使用者名	村岡 均、大塚 英一		

開 催 要 領

1. 主催者

【主催】 全国市長会、(公財)後藤・安田記念東京都市研究所、(公財)日本都市センター、岡山市
【協賛】 (公財)全国市長会館

2. 開催日時

【第1日】 平成28年10月6日(木) 9:30開会(受付開始 8:30)
【第2日】 平成28年10月7日(金) 9:30開会(開場 8:30)

3. 開催場所(交通アクセス24～27ページ)

【メイン会場】 岡山国際ホテル 瑞光の間
【サブ会場】 岡山国際ホテル 丹頂の間

〒703-8274 岡山市中区門田本町4-1-16 TEL:086-273-7311 FAX:086-271-0292

4. 議題(議題解説9～16ページ)

「人が集いめぐるまちづくり ― 国内外にひらかれた都市の活力創出戦略 ―」

5. 会議の内容(日程4ページ、講師略歴7・8ページ)

【第1日】 平成28年10月6日(木) 基調講演、主報告、一般報告
【第2日】 平成28年10月7日(金) パネルディスカッション、行政視察

6. 会議参加費

1名につき10,000円(両日の昼食は主催者にてご用意いたします。)

※会議参加費は、事務局に代わり㈱JTBC中国四国岡山支店が代行収受いたします。

※会議に参加される方は参加申込書の会議参加欄に○印をご記入ください。

※前日までにご連絡がないまま、当日不参加になった場合は、会議参加費のご返金はできませんので、予めご了承ください。

7. 会議の参加・宿泊(希望者のみ)等のお申込み

本冊子最終ページの「第78回全国都市問題会議 参加申込書」に必要事項をご記入の上、郵送又はFAXにてお申込みください。

※詳細は17ページの「参加申込方法」をご参照ください。

【申込開始日】 平成28年 8月 1日(月) 9:30 から
【申込締切日】 平成28年 8月19日(金) 17:30 必着

第78回全国都市問題会議

請求書

申込No. R000015

泉大津市議会 村岡均 様

JTB中国四国 岡山支店

岡山市北区表町1-7-36

〒700-0822

支店長 上田 英夫

R000016	(発行日) 2016/9/9					
財認第599号	(総費用/内訳)					
総費用	会議参加費	¥10,000	通信費	¥0	宿泊費	¥0
¥10,000	観光費	¥0	JR代	¥0	食事費	¥0
入金額	航空セット代	¥0	参加取消料	¥0	宿泊取消料	¥0
¥0	観光取消料	¥0	JR取消料	¥0	食事取消料	¥0
ご請求金額					セット取消料	¥0
¥10,000	下記の口座に 9月30日までに お振込み下さいますよう、お願い申し上げます。					

【振込銀行】

【口座番号】

【口座種別】

【口座名義】

第78回全国都市問題会議

請求書

申込No. R000016

泉大津市議会 大塚英一 様

JTB中国四国 岡山支店

岡山市北区表町1-7-36

〒700-0822

支店長 上田 英夫

R000017	(発行日) 2016/9/9					
財認第599号	(総費用/内訳)					
総費用	会議参加費	¥10,000	通信費	¥0	宿泊費	¥0
¥10,000	観光費	¥0	JR代	¥0	食事費	¥0
入金額	航空セット代	¥0	参加取消料	¥0	宿泊取消料	¥0
¥0	観光取消料	¥0	JR取消料	¥0	食事取消料	¥0
ご請求金額					セット取消料	¥0
¥10,000	下記の口座に 9月30日までに お振込み下さいますよう、お願い申し上げます。					

【振込銀行】

【口座番号】

【口座種別】

【口座名義】

会議参加費領収書

村岡均 様

金 10,000 円

但、「第78回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

平成28年10月6日

第78回全国都市問題会議実行委員会

会 長 大 森 雅 夫 

会議参加費領収書

大塚 英一 様

金 10,000 円

但、「第78回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。








平成28年10月6日

第78回全国都市問題会議実行委員会

会 長 大 森 雅 夫

支出命令書

決裁日 28年9月15日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所属	市議会事務局		起票日	平成28年9月15日	整理番号	2272-19
年度	平成28年度	会計	一般会計		予算区分	現年度予算
款	1	議会費			確認事項	確認
項	1	議会費			タイムカード(出勤簿)	
目	1	議会費			源泉徴収	
細目	4	議会調査研究事業			被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金			通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費				
金額	¥71,800			検収者 印		
控除額				支払方法	通常支払	
債権者	登録No.	99999		支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手	
	住所			金融機関		
	名称	公明党代表者 溝口 浩		支店		
	職氏名			預金種別		
				口座番号		
				伺残額	¥597,750	
摘要	旅費			支払予定日	平成28年10月5日	
	10/6~10/7 第78回全国都市問題会議参加旅			支払明細整理番号	001	
	費			請求書番号		

上記の金額を領収しました。
平成28年10月5日
年 月 日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 公明党代表者 溝口 浩

収入印紙



支出負担行為確認



支払済

164109058 9:10 0004-001 570 TR-2
9/9 197 21,800 8











2016000227201199

泉大津市



28.9.16

供	議長	副議長	局長	次長	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)


政務活動費交付請求書

平成28年 9月 15日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名
代表者名

公明党
清々

浩 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	71,800円 (35,900円×2人)		
内 訳	10/6~10/7 岡山市 第78回全国都市問題会議参加旅費		
支払先	村岡 均、大塚 英一		
予算科目	旅費	交付残額	597,750円
使用者名	村岡 均、大塚 英一		

平成28年度

出張申請書

(出張)


会派名	公明党			氏名	村岡 均			
出発・帰庁年月日		出発 28年10月6日			帰庁 28年10月7日			
出張先(順路) 岡山国際ホテル(岡山県岡山市中区門田本町4-1-16)								
目的及び用件 第78回全国都市問題会議に参加								
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 440	円	円	円	円	円	円 440
" (地下鉄御堂筋線) 新大阪		280						280
" (山陽新幹線) 岡山	180.9	3,020	特急料金 (のぞみ) 3,210					6,230
" 岡山国際ホテル		岡山駅から研修会場、研修会場から岡山駅までは、主催者側が用意したバスを利用する。			1泊 15,000	2日 7,000		22,000
" 岡山								
" 復路		3,740	特急料金 (のぞみ) 3,210					6,950
							計	35,900

主管課用

平成28年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	公明党		氏名	村岡 均						
出発・帰庁年月日	出発 28年10月6日		帰庁 28年10月7日							
出張先(順路)	岡山国際ホテル(岡山県岡山市中区門田本町4-1-16)									
目的及び用件	第78回全国都市問題会議に参加									
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計		
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 440	円	円	円	円	円	円 440		
" (地下鉄御堂筋線) 新大阪		280						280		
" (山陽新幹線) 岡山	180.9	3,020	特急料金 (のぞみ) 3,210					6,230		
" 岡山国際ホテル		岡山駅から研修会場、研修会場から岡山駅までは、主催者側が用意したバスを利用する。			1泊 15,000	2日 7,000		22,000		
" 岡山			特急料金 (のぞみ)							
復路		3,740	3,210					6,950		
							計	35,900		
右の金額領収いたしました。				金額	¥	3	5	9	0	0
平成 年 月 日				職名	公明党					
泉大津市会計管理者 殿				氏名	村岡 均					
										

平成28年度

出張申請書

(出張)


会派名	公明党	氏名	大塚 英一					
出発・帰庁年月日	出発 28年10月6日	帰庁 28年10月7日						
出張先(順路)	岡山国際ホテル(岡山県岡山市中区門田本町4-1-16)							
目的及び用件	第78回全国都市問題会議に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 440	円	円	円	円	円	円
" (地下鉄御堂筋線) 新大阪		280						280
" (山陽新幹線) 岡山	180.9	3,020	特急料金 (のぞみ) 3,210					6,230
" 岡山国際ホテル		岡山駅から研修会場、研修会場から岡山駅までは、主催者側が用意したバスを利用する。			1泊 15,000	2日 7,000		22,000
" 岡山			特急料金 (のぞみ)					
復路		3,740	3,210					6,950
							計	35,900

主管課用









平成28年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	公明党		氏名	大塚 英一				
出発・帰庁年月日	28年10月6日		帰庁	28年10月7日				
出張先(順路)	岡山国際ホテル(岡山県岡山市中区門田本町4-1-16)							
目的及び用件	第78回全国都市問題会議に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 440	円	円	円	円	円	円
" (地下鉄御堂筋線) 新大阪		280						280
" (山陽新幹線) 岡山	180.9	3,020	特急料金 (のぞみ) 3,210					6,230
" 岡山国際ホテル		岡山駅から研修会場、研修会場から岡山駅までは、主催者側が用意したバスを利用する。			1泊 15,000	2日 7,000		22,000
" 岡山			特急料金 (のぞみ)					
復路		3,740	3,210					6,950
							計	35,900
右の金額領収いたしました。				金額	¥ 3 5 9 0 0			
平成 年 月 日				職名	公明党			
泉大津市会計管理者 殿				氏名	大塚 英一			
								

□決 裁 ■供 覧

受発記号・番号		收受年月日	平成28年10月12日		
差出名	公明党 村岡 均、大塚 英一				
あて名	泉大津市議会議長			提出期限	
收受文書の記号		收受文書の日付	平成28年10月11日		
件名	報告書				
	議長	副議長	事務局長	次長	合
					
主管	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	主査	議
					
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項					

日 時：平成28年10月6日（木）～10月7日（金）

出張先：岡山国際ホテル（岡山県岡山市）

目 的：第78回全国都市問題会議に参加

報 告 書



平成 28 年 10 月 11 日

泉 大 津 市 議 会 議 長 殿

〔会派名〕 公明党

出張者氏名 村岡 均

大塚 英一



下記により出張したので、その概要について報告いたします。

記

1. 日 時 平成 28 年 10 月 6 日 (木) ～ 平成 28 年 10 月 7 日 (金)
2. 出 張 先 岡山県 岡山市
3. 目 的 第 78 回全国都市問題会議参加のため
4. 報 告 事 項 第 78 回全国都市問題会議が岡山県岡山市の岡山国際ホテルで開催され同会派の村岡議員とともに参加させて頂きました。まず第 1 日目はドイツ文学者で、エッセイストの池内紀氏の基調講演からスタートしました。池内氏は長年ドイツで活動されてその間ドイツにおけるまちに対する考え方、歴史的背景を中心に日本との相違点そして、自身のまちを知る為のルールについてお話頂きました。池内氏はドイツのまちを語るうえで重要なことは第二次世界大戦でヒトラーを生み出し、ホロコーストなどのユダヤ人迫害を行ってきた歴史的事実を忘れないようにするためのまちの作りになっており、日本でよく見受けられる市町村の合併はそのまちの歴史を破壊してしまうので合併はないと仰っておられました。さらに興味深かったのは日本では市や県が予算の権限を有していますが、ドイツではそれよりももっと小さな組織である郡が予算の権限を有しておりその地域、地域でまちづくりを行っているとありました。また後半では池内氏のまちを知る為のルールについてお話があり、何点かお示し頂きました。まずはその地域の役所へ行き広報誌を見る。図書館が交通の便がよいところにあり人が集まっているか。古いまちなみを大事にしているか。そしてスーパーの買い物客、バスの待合室で待っている人、タクシーの運転手などごくごく普通の暮らしを営んでいる方に話をされるそうです。そうしたやり取りを通じてそのまちの「におい」を感じてそのまちについてより深く知っていくのですとありました。人が集う活力あるまちづくり進めていくに当たっ

てこうしたまちのにおいを敏感に感じる嗅覚が大事であると感じました。基調講演に続いて開催都市岡山市長の大森雅夫氏より岡山市の取組みについて報告がありました。岡山市は晴天が多く、また直下に活断層がなく自然災害が少ない安全・安心な土地柄でさらに、広島・山口方面、鳥取・島根方面、そして香川などの四国方面の結節点である交通の要衝でもあり人口が順調に増加をしてきましたが、将来的には人口減少に突入することが見込まれて地方創生の取組みが大きな課題となっているとありました。従来より岡山市ではヘルスケア産業が盛んであり、また観光資源も後樂園や岡山城を抱えており更にこうした強みを生かす取組みをおこなっていると報告がありました。その取組みとして中心市街地の回遊性の向上に向けた道路の規制であったり、移住・定住の促進の為に「岡山市移住定住支援協議会」を平成26年4月に立ち上げ様々な相談に対してワンストップで対応しているとありました。また興味深かったのは更なる産業振興と市のアピールの為に、まず岡山市の隣の広島市と連携し、岡山市は高松市へ連携し、広島市は松山市に連携しこの4市でイベント行い瀬戸内圏の市域としてアピールし大きな成果を得ることができたと報告がありました。この点に関しては本市においても参考になる点が多々あると感じました。続いて岡山市長の報告の後は法政大学デザイン工学部教授の陣内秀信氏より「人を惹きつける都市空間とその文化力」と題し一般報告が行われました。陣内氏はイタリア政府給費留学生としてヴェネツィア建築大学に留学しその後も長年に渡りイタリアの建築史・都市史を研究されており、主に水辺の都市空間と古いまちなみや特色あるまちなみの重要性についてお話があり、近年日本では凹凸のある地形をよしとせず画一的な区画整理を重視する傾向が顕著に見られるが、凹凸のある地形や田園の風景などその地域、地域の特色をもっと大事にする地域資産を活かした固有性の高い地域づくりの重要性を強調されていました。続いては奈良県橿原市長の森下豊氏より「交流と賑わいのまちづくり」と題し一般報告が行われました。橿原市は関西圏の市であり、人口規模も本市と比べ多いのですが政令指定都市のような大規模な都市でないのではどのような取組みをなされているか興味深く拝聴させて頂きました。お話の中で森下市長が協調されていたのは奈良県をはじめとして各市町村がそれぞれ「まちづくりに関する連携協定」を締結し相互に連携して事業を進める枠組みを構築している点で、特に奈良県とは意思の疎通を図り良好な関係を構築してきていることを仰っておられました。そこで橿原市と取り組んでいる事業で近鉄大和八木駅の周辺のまちづくりについてお話がありました。これは近鉄大和八木駅の南側にある約1,100坪の市有地を活用して市民生活に直結する窓口業務を1か所に集約した総合窓口機能を有した分庁舎と140室程度の客室を含む観光施設からなる複合施設に着手したと説明がありました。こうした市庁舎の上階に宿泊

施設がある建物は大変めずらしいと思いますので今後の動向について大きな関心を持って注視していきたいと思いました。続いて筑波大学大学院システム工学研究科教授サイバニクス研究センター長で CYBERDYNE 株式会社代表取締役社長の山海嘉之氏より「革新的サイバニクスシステムによる社会変革・未来開拓への取り組み」と題してお話がありました。冒頭山海氏から「我々の取り組みにより重介護ゼロを目指している」とお話がありました。ロボット技術をはじめとして様々な先端技術を駆使してどういう病気なのか早期に発見し早期に根治するという夢のようなお話でしたが山海氏によりますとその技術が実用化されるまでもう目前のところまでできていますと説明がありました。こうした山海氏を中心とした一連の取り組みの動向を今後注視していきたいと思いました。第 1 日目は以上で終了し翌日の第 2 日目は「人が集いめぐるまちづくり～国内外にひらかれた都市の活力創出戦力～」をテーマにコーディネーターに東京大学大学院工学系研究科教授の西村幸夫氏を迎えてパネリストには中央大学法学部教授の工藤裕子氏、一般社団法人エリア・イノベーションアライアンス代表理事の木下斉氏、株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ代表取締役の木村正明氏、茨城県ひたちなか市の本間源基市長、三重県鈴鹿市の末松則子市長の以上 5 名のパネリストでパネルディスカッションが行われました。まずはじめに三重県鈴鹿市の末松市長から鈴鹿市の取り組みについてお話がありました。鈴鹿市には国際的にも有名な「鈴鹿サーキット」有しておりその地域資源を活かした取り組みの中で末松市長が強調されていたのは地域住民はもとより近隣の市町と緊密に連携しさらには民間の団体なども含め 37 団体で構成される「鈴鹿 F1 グランプリ地域活性化協議会」を組織していることでした。この協議会では様々な環境整備や歓迎ムードを盛り上げる取り組みなど積極的に行いモータースポーツへの裾野を拡大し他の地域資源とも結びつけ、オンリーワンの魅力を発信しているとありました。末松市長に続いて茨城県ひたちなか市の本間源基市長からひたちなか市の取り組みについてお話がありました。ひたちなか市は平成 6 年に勝田市と那珂湊市が合併し誕生したまち旧勝田市はもともと日立製作所を中心に製造業の工場が数多く立地する工業都市として発展してきたまちであり、旧那珂湊市水運、漁業で古くから栄えた地域で現在でも水産加工が盛んな地域であると説明がありました。こうした優れた産業基盤があるひたちなか市では民間が積極的に動き、その動きに市がバックアップをするといいますか、動きに遅れないようにについていっていると本間市長は仰っていました。その官民一体の動きの一例として「ひたちなか海浜鉄道湊線」の V 字回復についてお話頂きました。合併前の昭和 50 年ごろには年間 200 万人の乗降客は平成 17 年には 70 万人前半まで減少し、運営していた茨城交通から廃線の意向が示されたとき、市民有志が設立した「おらが湊鉄道応援団」による

存続運動など官民一体となった湊線活性化・再生への取り組みが行われ、平成20年にひたちなか市が51%出資する第3セクターとして湊線は新たなスタートを切り現在もその精力的な活動を続けており乗降客は年々増加してきています。本間市長はお話の中で何度も民間のおかげであり、自分はその動きについていっただけであると仰っていましたが、こうした民間の活力を活かし切るその行政手腕に対して私は大変感銘を受けました。

続いて中央大学法学部教授の工藤裕子氏より「アートイベントがもたらす地域への効果と課題」と題してお話を頂きました。第1日目の法政大学デザイン工学部教授の陣内秀信氏より「人を惹きつける都市空間とその文化力」と題しての一般報告を受けて、アートイベントの基本的な考え方つまり定期的なイベントとして地域に根差していくのか、一過性のプロジェクトなのかコンセプトを明確にしていかなないとそれに伴う環境整備、また開催都市をはじめ近隣都市の動きも当然のことながら変わっていく。ただただアートイベントがもてはやされているからという短絡的な考え方では成り立たない。まず基本となるコンセプトを明確にしたうえで取り組んでいくべきであるとお話がありました。

続いては一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス代表理事である木下斉氏より「都市間競争時代に求められる『稼ぐ都市づくり』」と題してお話を頂きました。木下氏は従来のもらう自治から稼ぐ自治への発想の転換を行いそこからどのようにして稼ぐ仕組みを作りだせるかを考えなければならないと力説されていました。またお話の中でこうした一連の地方創生の動きの中で、地方創生のコンサルタントやシンクタンクなどがそれぞれの自治体へ営業を掛けて実際やってみると実情にそぐわない通り一辺倒の調査分析を行い、結果地域にそぐわない箱モノの建設に至ったという事例を何度もご覧になってきたと仰っておられ、シンクしないシンクタンクに丸投げしてしまう姿勢に警鐘を鳴らされていました。このことは本市にも当てはまることでそういったことにならないように本市でもよく戦略をねっていかなければならないと強く感じました。そして最後に株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ代表取締役である木村正明氏より「後発組の挑戦～子どもたちに夢を～」と題してお話がありました。ファジアーノ岡山は2009年よりJリーグに加入されたのですが大変なご苦労の連続だったと述懐されていましたが、クラブの経営理念として「子どもたちの夢と憧れとなるような存在」「家庭と地域と学校の三者が協働できる社会づくりに貢献する」「岡山の誇りたる存在」を掲げて地域に根差した地道な活動、また長期的将来ビジョン明確に立ててクラブ運営を進めているとありました。また途中ファジアーノ岡山のイメージDVDを上映していただきましたがクラブ選手と子供たちが緑の芝生でサッカーボールを追い回している姿や、クラブが積極的に地域との交流を行い、着実に根差していつている様子を拝見させて

頂き、改めてスポーツのすばらしさを強く感じました。

5名のパネリストのお話が終わりここからパネルディスカッションとなる予定でしたがもうこの時点で大幅に時間が超過したためパネルディスカッションを行う時間がほとんどありませんでした。しかし5名のパネリストのお話をお聞きして共通してした点は国や県頼みではなくそれぞれが戦略を立てて自分たちの足で人が集いめぐるまちづくりに向けた取り組みを行っている点です。








この二日間の会議で様々な地域の取り組み、また様々な分野の専門の方々のお話をお聞きし大変内容の濃い有意義な会議でした。ただ私の希望を申し上げると今回報告をされていた都市は人口が多い都市が中心でありました。

全国には本市のような人口10万未満の都市がたくさんありますのでできればそういう都市の報告や紹介などを盛り込んでいただければなお一層有意義なものになったのではないかと個人的には感じました。こうして2日間の会議が終わりそのあとはA～Eの5つのコースに分かれましてそれぞれの現場の行政視察に向かいました。私と村岡議員はBコースの岡山市の名所誘客促進策の裏側視察コースに帯同致しました。まずはじめに後樂園を訪れまして地元ボランティアガイドによる説明を受けながら園内を回らせて頂いたのですが平日にも関わらずたくさんの外国人が園内を散策されており改めてこの後樂園も外国人に人気のあるスポットであるのだと感じました。その後岡山城へ移動しその中で岡山観光コンベンション協会によります誘客アクションの説明がありました。担当者のお話で、岡山市ならではの取り組みとして会議やレセプションを岡山城内で外国人を招いての行いそこで戦国武士の武具を身に付けて戦国武将になっていただいたり、お茶やお琴など日本文化に触れる取り組みを行っていますと説明がありました。こうした取り組みは外国人に大変好評でそこからネットなどを通じて評判が伝わり外国人が多く訪れる要因の一つとなっているとありました。岡山城の後はきびだんごの老舗である廣榮堂の工場見学に行きました。長い伝統のある老舗はともすれば看板商品だけに固執しがちなのですがお客様に喜んで頂くため新商品の開発も積極的に行っていますとの説明がありました。以上で第78回全国都市問題会議の全日程が終わったわけですが、今回私は初めて参加させて頂き改めて強く感じたのは、本市の取り組みがいろいろな面で遅れているということです。本市の良さを活かした独自の取り組みを今後考えてしっかり戦略を練っていかないと取り残されるという危機感を改めて強く感じました。今回の全国都市問題会議で学んだことを活かして本市の発展に資する取り組みに繋げていきたいと思えます。

以上

支出命令書

決裁日 28年 9月 20日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所属	市議会事務局		起票日	平成28年9月20日	整理番号	2272-20
年度	平成28年度	会計	一般会計		予算区分	現年度予算
款	1	議会費			確認事項	確認
項	1	議会費			タイムカード(出勤簿)	
目	1	議会費			源泉徴収	
細目	4	議会調査研究事業			被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金			通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費				
金額			¥2,789		検収者	印
控除額					支払方法	通常支払
債 権 者	登録No. 99999				支払区分	用紙振込 1.現金 2.小切手
	住所				金融機関	
	名称 公明党代表者 溝口 浩				支店	
	職氏名				預金種別	
					口座番号	
					伺残額	¥594,961
摘 要	通信費				支払予定日	平成28年9月30日
	NTT電話料金(8月分)				支払明細 整理番号	小切手支払
					請求書番号	

上記の金額を領収しました。

平成28年9月30日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 公明党代表者 溝口 浩

収入印紙



支出負担行為確認











支払済



2016000227201206

泉大津市

28.9.21


供	議長	副議長	局長	次長	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成28年 9月20日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 公明党
代表者名 清、浩 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	2,789円		
内 訳	NTT電話料金（8月分）		
支払先	NTT西日本		
予算科目	通信費	交付残額	594.961円
使用者名	公明党		



西日本電信電話株式会社
ビジネスSSC (金沢)

595-0026

泉大津市東雲町9-12

泉大津市役所5階
泉大津市役所 公明控室 様



TEL(無料) 0120-424923

〒920-0963

金沢市 出羽町

4-1 NTT出羽町ビル

社用コード 201201311001 10657 10657 00*

NTT西日本料金請求書
(NTT WEST-Bill)

平成 28 年 9 月 15 日発行

※お問い合わせの際は、番号をよくお確かめのうえおかけください。

料金お問合せ先 ビジネスSSC (金沢)

0120-424923 (無料)

日ごろ、NTT西日本をご利用いただきましてありがとうございます。
裏面のお支払場所にご請求書をご持参のうえ、お支払いください。

お客さま請求番号	ご請求年月	ご請求額 (Charge)	お支払期限 (Due Date)
[Redacted]	平成 28 年 9 月分	2,789円	平成 28 年 9 月 30 日
ご請求の内訳	金額 (円)	お知らせ	
NTT西日本ご利用分 [合計]	2,789 2,789	詳細については、別添の「ご利用料金内訳書」をご覧ください。	

- お支払期限後に支払われた場合は、年14.5% (1日当たり約0.04%)の延滞利息をお支払いいただく場合もあります。
- ご利用料金の内訳については、次ページをご覧ください。

↓下の部分を切り取り、裏面の各お支払場所にてお支払い願います。 <切り取り線>

電話料金等領収証
(Receipt)

お客さま請求番号

お客さま氏名

泉大津市役所 公明
控室 様

金額

平成 28 年 9 月分

2789円

うち、消費税相当額

206円

西日本電信電話株式会社

ビジネスSSC (金沢)

料金お問合せ先(無料)

0120-424923



(お客さま)

支出命令書

決裁日 28年9月23日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所 属	市議会事務局		起票日	平成28年9月23日	整理番号	2272-21
年 度	平成28年度	会 計	一般会計		予算区分	現年度予算
款	1	議 会 費	確 認 事 項		確 認	
項	1	議 会 費	タイムカード(出勤簿)			
目	1	議 会 費	源 泉 徴 収			
細目	4	議会調査研究事業	被服貸与台帳記載			
節	19	負担金、補助及び交付金	通勤経路及び金額			
細節	45	政務活動費				
金 額			¥4,318	検収者 印		
控除額			支払方法	通常支払		
債 権 者	登録No. 99999		支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手		
	住 所		金融機関			
	名 称 公明党代表者 溝口 浩		支 店			
	職氏名		預金種別			
			口座番号			
			伺 残 額	¥590,643		
摘 要	通信費		支払予定日	平成28年10月6日		
	インターネット接続料(8月分)		支払明細 整理番号	001		
			請求書番号			

<p>上記の金額を領収しました。 平成28年10月6日 年 月 日</p> <p>泉大津市会計管理者 様</p> <p>住所</p> <p>名称</p> <p>氏名 公明党代表者 溝口 浩</p>		<p>収入印紙</p>	<p>支出負担行為確認</p>
			<p>支 払 済</p>











2016000227201215

泉大津市



28.9.25

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成 28年 9 月 23 日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 公明党
代表者名 溝口浩 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	¥4,318. —		
内 訳	インターネット接続料 8月利用分 4,318. —		
支払先	ソフトバンク株式会社		
予算科目	通信費	交付残額	590,643 円
使用者名	公明党		

ご利用料金請求書 (BILL FOR MOBILE SERVICE CHARGES)

ソフトバンク株式会社

発行日 2016年 9月 8日

日頃は当サービスをご利用いただき誠にありがとうございます。
お客さまのご利用料金をお知らせいたします。

595-0026
大阪府泉大津市東雲町9-12
泉大津市役所 議会

泉大津市議会 公明党
溝口浩 様



0441848881-30 12-1609
04418488813012160916090800
0000000911-BM12AA0018370#
001/001-0018370 018439



370010

請求先コード		請求対象契約数	
契約者コード			
割賦契約コード	-		1
請求年月 (MONTH OF ISSUE)	2016年 9月請求分		
請求金額 (TOTAL AMOUNT)	4,318円		
お支払期日 (DUE DATE)	2016年 9月27日		

ご利用料金は払込票をご持参の上、記載のコンビニエンスストアもしくは全国のゆうちょ銀行でお支払いください。
※お支払金額の訂正はできません。
料金のお支払いは、払込の手間がかからないクレジットカード払い・口座振替払いをおすすめします。支払方法変更は、カスタマーセンターにて承ります。

お問い合わせ先 (INFORMATION)

ワイモバイル カスタマーセンター (通話料有料)
ワイモバイルの電話から 151 一般電話から 0570-039-151
[受付時間] 9:00~20:00 (年中無休)

お知らせ (INFORMATION)

- ワイモバイルのスマートフォン、ケータイ、Pocket WiFiの製品や料金、おトクなキャンペーン、Yahoo!と連携したサービスなどワイモバイルのホームページをチェック!
<http://ymobile.jp>
- メール等による架空請求詐欺にご注意ください。身に覚えのないサイト利用料などの架空請求を受けた場合、安易に請求には応じず、また記載された連絡先への問い合わせはしないようご注意ください。
- ご利用料金は、左記期限までにお支払いください。
- 毎月のご利用料金のお支払いは、便利なクレジットカード払いがオススメ! 請求書発行手数料、および払込処理手数料の節約ができ、手間も省け大変便利です。
- ご利用料金の内訳等は、お客さま専用サイトの「My Y!mobile」でもお手続き可能です。
- ご住所やお支払方法変更は、My Y!mobile かカスタマーセンターでお手続きいただけます。

請求金額の内訳は裏面または別紙をご確認ください。

お支払期日までにお支払いの確認ができない場合、督促手数料を請求させていただくことがありますので期日超過にご注意ください。

ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
28-09-18	41071	A93130004
取扱店	イスマリオツ	
払込口座	[REDACTED]	
払込金額	*4,318	料金 *0

振替受付票	
払込みの証拠となるものですが、大切に保存して下さい。	
料金には、消費税等が含まれています。(ゆうちょ銀行)	
入金額	*10,000
おつり	*5,682

入金額 *10,000
おつり *5,682

ゆうちょ口座間送金は10月1日から月4回目以降、料金がかかります。

印紙税申告納付につき趣町税務署承認済

支出命令書

決裁日 28年 9 月 27 日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所 属	市議会事務局	起票日	平成28年9月27日	整理番号	2272-22
-----	--------	-----	------------	------	---------

年 度	平成28年度	会 計	一般会計	予算区分	現年度予算
-----	--------	-----	------	------	-------

款	1	議 会 費	確 認 事 項	確 認
項	1	議 会 費	タイムカード(出勤簿)	
目	1	議 会 費	源 泉 徴 収	
細目	4	議会調査研究事業	被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金	通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費		

金 額	¥7,000 .	検収者	印
-----	----------	-----	---

控除額		支払方法	通常支払
-----	--	------	------

債 権 者	登録No. 99999	支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手
	住 所	金融機関	
	名 称 公明党代表者 溝口 浩	支 店	
	職氏名	預金種別	
		口座番号	
		伺 残 額	¥583,643

摘 要	旅費	支払予定日	平成28年10月12日
	10/13~10/14 平成28年度堺泉北港地元港湾	支払明細 整理番号	001
	振興会における産業都市合同視察 参加旅費	請求書番号	

上記の金額を領収しました。
平成28年10月12日
年 月 日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 公明党代表者 溝口 浩

収入印紙



支出負担行為確認



支 払 済











201600227201224

泉大津市



28.9.28

16410125 9:59 0004 21-000 5
280 TNR-2


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成28年 9月 27日

泉大津市長
伊藤 晴彦 様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 公明党
代表者名 溝口 浩 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	7,000円		
内 訳	10/13~10/14 平成28年度堺泉北港地元港湾振興会における産業都市合同視察 参加旅費		
支払先	大塚 英一		
予算科目	旅費	交付残額	585,643円
使用者名	大塚 英一		

平成28年度

出張申請書

(出張)


会派名	公明党	氏名	大塚 英一					
出発・帰庁年月日	出発 28年10月13日		帰庁 28年10月14日					
出張先(順路)	富山県広域消防防災センター(富山県富山市惣在寺1090-1) 富山県伏木富山港(富山県高岡市伏木万葉ふ頭)							
目的及び用件	平成28年度堺泉北港地元港湾振興会における産業港湾都市合同視察に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km					円	円	円
富山県広域消防防災センター		円	円	円	円	2日 7,000		7,000
"								
富山県伏木富山港								
"								
泉大津								
							計	7,000
		交通費及び宿泊料については、参加負担金として泉大津港湾振興会へ別途支払う。						

主管課用









平成28年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	公明党	氏名	大塚 英一					
出発・帰庁年月日	出発 28年10月13日	帰庁 28年10月14日						
出張先(順路)	富山県広域消防防災センター(富山県富山市惣在寺1090-1) 富山県伏木富山港(富山県高岡市伏木万葉ふ頭)							
目的及び用件	平成28年度堺泉北港地元港湾振興会における産業港湾都市合同視察に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km					円	円	円
富山県広域消防防災センター		円	円	円	円	2日 7,000		7,000
"								
富山県伏木富山港								
"								
泉大津								
							計	7,000
		交通費及び宿泊料については、参加負担金として泉大津港湾振興会へ別途支払う。						
右の金額領収いたしました。						金額	¥ 7,000	
平成 年 月 日						職名	公明党	
泉大津市会計管理者 殿						氏名	大塚 英一	
								

□決 裁 ■供 覧


受発記号・番号				收受年月日	平成28年10月24日			
差出 名		公明党 大塚 英一						
あて 名		泉大津市議会議長				提出期限		
收受文書の記号				收受文書の日付	平成28年10月24日			
件 名		報告書						
議長		副議長		事務局長		次長		合 議
								
主 管	次長補佐	議事調査係長		庶務係長		主査		
								
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項								
<p>日 時：平成28年10月13日（木）～10月14日（金）</p> <p>出張先：富山県射水市、富山市</p> <p>目 的：堺泉北港地元港湾振興会産業港湾都市合同視察に参加</p>								

報 告 書



平成 28 年 10 月 24 日

泉 大 津 市 議 会 議 長 殿

〔会派名〕 公明党
出張者氏名 大塚 英一 

下記により出張したので、その概要について報告いたします。

記

1. 日 時 平成 28 年 10 月 13 日 (木) ～平成 28 年 10 月 14 日 (金)
2. 出 張 先 富山県 射水市 富山市
3. 目 的 堺泉北港地元港湾振興会産業港湾都市合同視察参加のため









4. 報告事項 10月13日(木)14日(金)の2日間、堺泉北港地元港湾振興会の産業港湾都市視察において臨海地域整備対策特別委員会副委員長として視察メンバーの一員で帯同しましたのご報告致します。まず13日の早朝午前7時45分にテクスピア大阪に集合しバスにて富山へ向かいました。道中適宜休憩を取りながら最初の視察目的地である富山県広域消防防災センター四季防災館へ行きましたがまずはそのセンターの敷地の広さに驚きました。このセンターは富山県消防学校も兼ねておりまして約半年間の期間を掛けて消防士の育成訓練を行い、また万一災害が発生した時には緊急避難場所としても使われるとのことでした。視察団は四季防災館にて種々説明を受けたのですが、なぜ「四季防災館」と名付けられたかといいますと、富山県は四季の区別がはっきりとしており夏は大変暑く、冬は大変寒くまた雪も多い。そうした富山県独特の気候による災害が発生しているためそのように名付けられたとのことでした。四季防災館では実体験できるブースがありまして煙火災の体験と風雨災害の体験、そして地震を体感できるブースを実際に体験させていただき、災害をよりリアル感じて体感できる工夫がなされていました。また防災シアターでは津波や土砂災害のメカニズムについて大きくて迫力のあるスクリーンを用いて学びました。視察当日もたくさんの小学生たちが見学にきており歓声を上げながら施設を見学していたのが印象的でした。関西圏でもこれだけの大きな敷地の施設は

ないので大変勉強になりました。第1日目の視察が終わり翌14日は今回の視察のメインである伏木富山港へ向かいました。伏木富山港は平成23年11月に国から総合的拠点港の5港のひとつに選定され伏木地区、新湊地区、富山地区の3つの港から構成されそれぞれの特長を活かした「機能別拠点港」として「国際海上コンテナ」「国際フェリー・国際RORO船」「外航クルーズ」を強化する整備が進んでいます。担当の方から説明を受けるなかで印象に残ったのは環日本海・東アジア諸国図(通称・逆さ地図)を用いて説明があったのですが、地図を逆さにして見てみると、伏木富山港が韓国、中国、ロシアへの航路の基点となっているいわば玄関口に位置していると説明があり、まさに日本海側の要衝の役割を果たしているという点でした。これまで地図を逆さに見ることがなかったのでこの説明は目からうろこでして、物事のある一面からのみ見るのではなく多面的に見ていく重要性を改めて感じました。またもう一点印象に残ったのが国際航路の発展を見越して現地に事務所を置いているという点でした。事務所の規模は小さいものですがやはりこうした現地に前裁きを行う現地事務所があるとないとでは大きく違ってくると思います。この点に関してはアジア・オセアニア圏への中古車輸出の拡大を考えている堺泉北港として現地事務所の設置を今後真剣に考えていく必要があると強く感じました。説明の後は現場施設に行かせて頂きました。やはり実際に現地へ行って様々な施設を見ますとその港の規模や能力がよくわかります。特に平成22年6月に増設された大型のガントリークレーンは大変迫力がありました。伏木富山港の視察が終わり最後は富山県高岡市にあります国宝瑞龍寺へ見学に行かせて頂きました。瑞龍寺は加賀二代藩主の前田利長公の菩提を弔うため三代藩主利常公によって建立された寺でボランティアガイドの説明で建立の歴史や経緯など教えて頂き改めて荘厳な歴史ある建築物であることを知り貴重な経験をさせていただきました。こうした歴史的な建築物を大切に、またその歴史も大切に後世に伝えていくことは大変重要なことであると改めて感じました。以上で2日間の視察は終わったわけですが今回の視察の移動は全てバスだった為長時間の移動で少し疲れましたが、この合同視察を通じて大変貴重な経験をさせていただいたのと同時に、今回の視察に参加された方々とも親睦を深め様々な意見交換をさせていただきました。このような機会を与えて頂いたことに感謝し、この視察で学んだことを今後の糧としてまいりたいと思います。そしてこの堺泉北港の更なる発展のためには泉大津、堺、高石のそれぞれの港湾振興会の連携が不可欠であることを強く感じました。今後も議員として堺泉北港の発展に資する取り組みに尽力してまいりたいと思います。

以上

支出命令書

決裁日 28年 9月 27日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所 属	市議会事務局		起票日	平成28年9月27日	整理番号	2272-23
年 度	平成28年度	会 計	一般会計		予算区分	現年度予算
款	1	議 会 費			確 認 事 項	確 認
項	1	議 会 費			タイムカード(出勤簿)	
目	1	議 会 費			源 泉 徴 収	
細目	4	議会調査研究事業			被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金			通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費				
金 額	¥25,000			検収者	印	
控除額				支払方法	通常支払	
債 権 者	登録No. 99999			支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手	
	住 所			金融機関		
	名 称 公明党代表者 溝口 浩			支 店		
	職氏名			預金種別		
				口座番号		
				伺 残 額	¥558,643	
摘 要	研究研修費			支払予定日	平成28年10月11日	
	10/19~10/20 第11回全国市議会議長会研究			支払明細 整理番号	001	
	フォーラム 参加負担金及び視察参加負担金			請求書番号		

上記の金額を領収しました。
平成28年10月11日
年 月 日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 公明党代表者 溝口 浩

収入印紙



支出負担行為確認



支 払 済











201600227201233

泉大津市

28.9.28

164108118 11:46 0012-001 290 199-2 25,000


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成28年 9月 27日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 公明党
代表者名 溝口 浩 印

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	25,000円		
内 訳	10/19~10/20 静岡市 第11回全国市議会議長会研究フォーラム参加負担金及び視察参加負担金		
支払先	(株) JTBサポート中部		
予算科目	研究研修費	交付残額	558,643円
使用者名	溝口 浩、大塚 英一		

2016/9/30

溝口 浩 様

受付番号 1238-9

請求書NO. 16006-00996

株式会社J TBサポート中部
営業開発部 中部MICEセンター
営業開発部長 中谷 武史



〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-17-19
キリックス丸の内ビル7階

【TEL】052-218-2007【FAX】050-3727-9997

担当: [Redacted]

ご請求書

この度は弊社をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
下記のとおりご請求申し上げます。

ご請求金額	¥7,000※
-------	---------

【内訳】	項目	単価	人数	金額	摘要
	フォーラム参加費	¥7,000	1	¥7,000	
請求金額合計					¥7,000

【備考】

振込口座のご案内

【店名】	[Redacted]
【種別】	[Redacted]
【口座番号】	[Redacted]
【口座名義】	[Redacted]
★お振込みの際は、お名前の前に必ず 1238-9 をご入力くださいませ。	

お振込み期限: 10月13日(木) まで

※振込手数料はお申込者様負担となります。あらかじめご了承くださいませ。

泉大津市議会
溝口 浩 様

参加費領収証

金 7,000 円

第11回全国市議会議長会研究フォーラムin静岡の参加費として
上記のとおり領収いたしました

平成28年10月19日・20日

第11回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会
委員長 岡下 勝彦

1238-04 1732

東京都千代田区平河町2-4-

2016/9/30

大塚 英一 様

受付番号 1238-4

請求書NO. 16006-00991

株式会社J TBサポート中部
 営業開発部 中部MICEセンター
 営業開発部長 中谷 武史
 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-17-19
 キリックス丸の内ビル7階
 【TEL】052-218-2007【FAX】050-37-788037
 担当: [REDACTED]



ご請求書

この度は弊社をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
 下記のとおりご請求申し上げます。

ご請求金額	¥7,000※
-------	---------

【内訳】

項目	単価	人数	金額	摘要
フォーラム参加費	¥7,000	1	¥7,000	
請求金額合計			¥7,000	

【備考】

振込口座のご案内

【店名】 [REDACTED]

【種別】 [REDACTED]

【口座番号】 [REDACTED]

【口座名義】 [REDACTED]

★お振込みの際は、お名前の前に必ず 1238-4 をご入力くださいませ。

お振込み期限: 10月13日(木) まで

※振込手数料はお申込者様負担となります。あらかじめご了承くださいませ。

大塚 英一 様

受付番号 1238-5

請求書NO. 16006-00992

株式会社J TBサポート中部
営業開発部 中部MICEセンター
営業開発部長 中谷 武史



〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-17-18
キリックス丸の内ビル7階

【TEL】052-218-2007【FAX】050-377889037

担当: [Redacted]

ご請求書

この度は弊社をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
下記のとおりご請求申し上げます。

ご請求金額	¥11,000※
-------	----------

【内訳】	項目	単価	人数	金額	摘要
	旅行代金(宿泊代金)				
	旅行代金(視察)	¥11,000	1	¥11,000	
請求金額合計					¥11,000

【備考】

振込口座のご案内

【店名】	[Redacted]
【種別】	[Redacted]
【口座番号】	[Redacted]
【口座名義】	[Redacted]
★お振込みの際は、お名前の前に必ず 1238-5 をご入力くださいませ。	

お振込み期限: 10月13日(木) まで

※振込手数料はお申込者様負担となります。あらかじめご了承くださいませ。

泉大津市議会
大塚 英一 様

参加費領収証

金 7,000 円

第11回全国市議会議長会研究フォーラムin静岡の参加費として
上記のとおり領収いたしました

平成28年10月19日・20日

第11回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会
委員長 岡下 勝彦

1238-11 1739

東京都千代田区平河町2-4-

領収証 RECEIPT



株式会社ジェイティービーサポート中部

泉大津市議会議員
大塚 英一 様

No. R16-1930

営業開発部 中部MICEセンター 印

名古屋市中区丸の内1-17-19

キリックス丸の内ビル7階 〒460-0002

TEL:052(218)2007 FAX:050(3737)8303

発行日 2016/11/18

下記の金額正に領収いたしました。

¥11,000 ※









但し 第11回全国市議会議長会研究フォーラムin静岡
視察参加負担金

出納責任者	取扱者
■	■



領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

支出命令書

決裁日 28年 9 月 27 日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所 属	市議会事務局		起票日	平成28年9月27日	整理番号	2272-24
年 度	平成28年度	会 計	一般会計		予算区分	現年度予算
款	1	議 会 費			確 認 事 項	確 認
項	1	議 会 費			タイムカード(出勤簿)	
目	1	議 会 費			源 泉 徴 収	
細目	4	議会調査研究事業			被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金			通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費				
金 額				¥89,750	検収者	印
控除額					支払方法	通常支払
債 権 者	登録No.	99999		支払区分	窓口払い	1.現金 2.小切手
	住 所			金融機関		
	名 称	公明党代表者 溝口 浩		支 店		
	職氏名			預金種別		
				口座番号		
				伺 残 額		¥468,893
摘 要	旅費			支払予定日	平成28年10月18日	
	10/19~10/20	第11回全国市議会議長会研究		支払明細 整理番号	001	
	フォーラム	参加旅費		請求書番号		

<p>上記の金額を領収しました。 平成28年10月18日 年 月 日</p> <p>泉大津市会計管理者 様</p> <p>住所</p> <p>名称</p> <p>氏名 公明党代表者 溝口 浩</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;">収入印紙</div> 	<p>支出負担行為確認</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>支 払 済</p>
---	---	---











2016000227201242

泉大津市



28.9.28


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成28年 9月27日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 公明党
代表者名 溝口 浩 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	89,750円		
内 訳	10/19~10/20 静岡市 第11回全国市議会議長会研究フォーラム 参加旅費		
支払先	溝口 浩、大塚 英一		
予算科目	旅費	交付残額	468,893円
使用者名	溝口 浩、大塚 英一		

平成28年度

出張申請書

(出張)


会派名	公明党	氏名	溝口 浩					
出発・帰庁年月日	出発	28年10月19日	帰庁	28年10月20日				
出張先(順路)	グランシップ大ホール(静岡県静岡市駿河区池田79-4)							
目的及び用件	第11回全国市議会議長会研究フォーラムin静岡に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線)	km			円	円	円	円	円
難波		440						440
" (地下鉄御堂筋線)								
新大阪		280						280
" (東海道新幹線)	376.2		特急料金					
静岡		378.7	6,260	(ひかり) 4,620				10,880
" (東海道本線)	2.5				1泊	2日		
東静岡					15,000	7,000		22,000
" 			特急料金					
復路			6,980	(ひかり) 4,620				11,600
							計	45,200

主管課用

平成28年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	公明党	氏名	溝口 浩							
出発・帰庁年月日	出発 28年10月19日	帰庁 28年10月20日								
出張先(順路)	グランシップ大ホール(静岡県静岡市駿河区池田79-4)									
目的及び用件	第11回全国市議会議長会研究フォーラムin静岡に参加									
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計		
泉大津 (南海本線)	km	円	円	円	円	円	円	円		
難波		440						440		
" (地下鉄御堂筋線)		280						280		
新大阪										
" (東海道新幹線)	376.2	6,260	特急料金 (ひかり)							
静岡			378.7	4,620					10,880	
" (東海道本線)	2.5				1泊 15,000	2日 7,000				
東静岡								22,000		
" 			特急料金 (ひかり)							
復路		6,980	4,620					11,600		
							計	45,200		
右の金額領収いたしました。				金額	¥	4	5	2	0	0
平成 年 月 日										
泉大津市会計管理者 殿				職名	公明党					
				氏名	溝口 浩					
										

平成28年度

出張申請書

(出張)


会派名	公明党			氏名	大塚 英一			
出発・帰庁年月日	出発 28年10月19日			帰庁 28年10月20日				
出張先(順路)	グランシップ大ホール(静岡県静岡市駿河区池田79-4)							
目的及び用件	第11回全国市議会議長会研究フォーラムin静岡に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線)	km			円	円	円	円	円
難波		440	円					440
" (地下鉄御堂筋線)								
新大阪		280						280
" (東海道新幹線)	376.2							
静岡		378.7	6,260	特急料金 (ひかり) 4,620				
" (東海道本線)	2.5							
東静岡						1泊 15,000	2日 7,000	
" 掛川	研修会場から掛川駅までは、主催者側が用意したバスを利用する。							
" (東海道新幹線)	327.1							
新大阪			5,620	特急料金 (こだま) 4,610				
" (地下鉄御堂筋線)								
難波		280						
" (南海本線)								
泉大津		440						
							計	44,550

主管課用









平成28年度

領収書兼旅費明細書

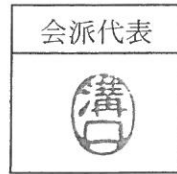
(出張)

会派名	公明党	氏名	大塚 英一					
出発・帰庁年月日	出発 28年10月19日	帰庁 28年10月20日						
出張先(順路)	グランシップ大ホール(静岡県静岡市駿河区池田79-4)							
目的及び用件	第11回全国市議会議長会研究フォーラムin静岡に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線)	km	円	円	円	円	円	円	円
難波		440						440
" (地下鉄御堂筋線)								
新大阪		280						280
" (東海道新幹線)	376.2		特急料金 (ひかり)					
静岡		378.7	6,260	4,620				10,880
" (東海道本線)	2.5				1泊	2日		
東静岡					15,000	7,000		22,000
" 掛川	研修会場から掛川駅までは、主催者側が用意したバスを利用する。							
" (東海道新幹線)	327.1		特急料金 (こだま)					
新大阪		5,620	4,610					10,230
" (地下鉄御堂筋線)								
難波		280						280
" (南海本線)								
泉大津		440						440
							計	44,550
右の金額領収いたしました。				金額	¥ 44,550			
平成 年 月 日				職名	公明党			
泉大津市会計管理者 殿				氏名	大塚 英一			
								

□決 裁 ■供 覧

受発記号・番号				收受年月日	平成28年10月31日							
差出 名		公明党 溝口 浩、大塚 英一										
あて 名		泉大津市議会議長			提出期限							
收受文書の記号				收受文書の日付	平成28年10月31日							
件 名		報告書										
議長		副議長		事務局長		次長		合				
												
主 管	次長補佐	議事調査係長		庶務係長		主査		議				
												
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項												
<p>日 時：平成28年10月19日（水）～10月20日（木）</p> <p>出張先：グランシップ大ホール・海（静岡県静岡市）</p> <p>目 的：第11回全国市議会議長会研究フォーラムに参加</p>												

報 告 書



平成 28 年 10 月 31 日

泉 大 津 市 議 会 議 長 殿

〔会派名〕 公明党

出張者氏名 溝口 浩
大塚 英一



下記により出張したので、その概要について報告いたします。

記

1. 日 時 平成 28 年 10 月 19 日 (水) ~平成 28 年 10 月 20 日 (木)
2. 出 張 先 静岡県 静岡市
3. 目 的 平成 28 年度第 11 回全国市議会議長会研究フォーラム in 静岡参加のため
4. 報告事項 10 月 19 日 (水) 第 1 日目、基調講演として東京大学名誉教授の大森彌氏による「二元代表制と議会の監視機能」と題した基調講演がありました。日本国憲法第 93 条には地方公共団体に議事機関として、議会を設置するとし、首長と議員を第 2 項で地方公共団体の住民による直接選挙の規定があるとの事。地方制度調査会の答申では、地方議会は地方自治の根幹との指摘もあり、大変重要であるとの指摘でした。そこで、二元的代表制度と名づけている。国と自治体の仕組みは違っており、国会で内閣総理大臣を示す権限を持っている政党を与党、そうでない政党を野党というが、自治体には与党と野党という区別がない。地方自治法は読みにくいですが地方公共団体は法人とする。と書いてある。法人は機関。議事機関、執行機関を設置し、人格は関係ない。執行機関も誰でも良いが、その事はあまり知られていない。選挙で選ばれる住民は期待を持ち、任せている。白紙委任ではないという事。強い自覚が求められるが、執行機関である首長に相当強い権限を持たせている (企画立案をし、予算編成し、議案提出を行い、議会に首長が出席している) ため、議事機関の議会が責任を取ろうとは思っていない。権限に大きな差があるという事です。しかしながら、現在の制度の中でも議会のできることはあり、大きな機能として監視機能があるという事です。議会の命は言論であり、assembly と言われている。討議をするために集まってくる人を言う。議員は様々な人が集まっている。

議会全体の意思を纏めるのは難しいが合意ができないだろうか。チーム議会と呼びたい。党派の壁を超えられるか。討議の場が必要であり、議会全体で力を強めてほしいと話を結ばれました。議会としての纏まった意思表示は大切であり、本市の議会も議会基本条例の制定と共に、「チーム議会」との視点から、議論を進めていける環境が少し生まれており、市民への情報発信と、監視機能からの斬新な取り組みの必要性を強く感じました。

続いて、「監視権の活用による議会改革」と題したパネルディスカッションが行われました。コーディネーターは山梨学院大学教授の江藤俊昭氏、パネリストは東京大学教授の斎藤誠氏、龍谷大学教授の土山希美枝氏、日経新聞編集・論説委員の谷隆徳氏、静岡市議会議長の栗田裕之氏による議論がありました。

最初に江藤氏から、議会の監視機能、政策提言機能も動き出してきており、地方議会改革の本史が進んできた。議会基本条例の運営を住民の福祉の向上に繋げられるかがこれからのポイントであるとの指摘でした。

斎藤氏は、法的視点から見た監視権の活用について、第29次地方制度調査会答申に契約締結と財産の取得又は処分について、議決事件の対象を拡大すべきと述べているが議論は進んでいない。判例における議会の監視機能の評価として、第三セクターへの金融機関の出資に際して地方公共団体と金融機関の損失補填契約の是非について、議会の審査を契約適法性判断の考慮要素とし、判決の補足意見で地方議会によって個別にチェックされるべきものという確立されたものになっているという指摘でした。

続いて土山氏は、政策・制度を制御するという監視・監査の立場から自治体の役目が市民にとって良いものになることが必要。必要不可欠かどうか。政策の効果がどうか、市民にとってどうか問われる。多様な意思形成を図る事が監査だ。一般質問を良くしよう。監査、監視機能が生かされていない。議会全体としての一般質問が必要。議員の争点提起を議会の争点提起へと繋げていくべき。活用されるべき。気づきを有効にすべき。監査と監視は重要であり、進捗管理も市民の代表から見たあるべき姿が必要との指摘でした。

谷氏はメディアから見た議会の監視権として、情報公開等はかなり進んできた。住民参加もすすんでいるが、監視機能の変化はまだまだ進んでいない。富山市議会と東京都議会→代表質問がワイドショーに中継された。一括質問一括答弁は弱い。委員会審議は頑張っていた。理由は2つ。メディアのリードと都知事との立ち位置が決まっていない。与党の質問は突っ込みが弱い、甘い。監視機能が衰えている。党派の縛りをなくす事が必要では？山梨県議会でも予算案を先決処分した。通年議会的な変革が必要では？との指摘でした。

栗田氏は静岡市議会の議会改革について、議会の監視権について、政策提言や議員発議の条例を発行しており、H20年、目指せ茶所日本一条例、H22もの

づくり産業振興条例、平成 24 年議会基本条例、平成 26 年世界遺産三保松原保全活用条例、平成 27 年のちを守る防災・減災の推進に関する条例等実例の紹介がありました。

次に、監視権の大きなポイントとしての決算認定について、江藤氏が予算、決算の認定を充実させるべきだとして岐阜県多治見市議会が長期で取り組んでいると指摘し、パネリストの考えを問いました。

斎藤氏は、日常的な監視、監査委員の意見を充実したものにする事、議会が長に対し不認定にしたものについてはその理由について十分説明すべき事等の指摘があり、

土山氏は監視監査機能はこうあるべきではないか。リアリティのあるものが必要。日常的な関わりが大事で、予算決算と総合計画と事業計画との関わりを日常的に考慮すべき事、議会が事務事業評価をすべきだ。その中には按分として人件費も付けるべきだとのご意見がありました。

また、谷氏は決算の軸は財政構造全体のチェックをするものだが、ミクロの議論が必要ではないか？事務事業評価を議会全体として行うべきでは？その結果として決算認定→予算要望に繋げていくとの視点を述べられました。

栗田氏は、決算審査は市民にとっても分かりやすいものにするために、説明資料に成果指標と現状の資料を追加させた。目的や達成状況を追加させたとの実績を述べられました。

次に議選監査委員を選挙制にする事について、

斎藤氏は、監査を踏まえた議選監査委員の広がり期待できない事が原因であり、議会に関わる監査請求が出た時は議決事案にする事なく、外部監査委員への道筋を広げるべきとの指摘がありました。

土山氏は、議選は必要だ。通常の議会活動との連動性は確保すべき。議会全体へのノウハウを活かす仕組みを作るべき。北海道根室町で一般質問と繋げているとの事例紹介を含めた意見表明がありました。

谷氏は、議会と監査委員とは自ずと仕事が違う。議選の監査委員の必要性は薄く、議会は、住民アンケート等住民との関係性を強めていただきたいとの指摘がありました。

栗田氏は、各自治体に委ねるとの答申を評価する。地方の自由度を高める必要があるのでは？監査に何を求めるかが課題との意見表明でした。

それぞれ、違う立場からの意見表明を聞いて、良かったと思います。尚、共通で住民の代表機関であるとの認識と、監視機能を十分生かした議会運営を行うことを先進事例からもっと学んでいかなければと思いました。

10月20日の第2日目は、課題討議「監視権を如何に行使すべきか」について、中央大学教授の佐々木信夫氏をコーディネーターとして、事例報告者の藤

沢市議会前副議長の佐賀和樹氏、和歌山市議会議運委員長の井上直樹氏、日田市議会議長の嶋崎健二氏が討議を行いました。

最初に事例報告として佐賀氏から藤沢市議会の取り組みについて、説明がありました。100条委員会を通じて前市長による土地の先行取得問題について議論し、当初は事務執行の市長派であったが、追求側はよく調査をしており、党派の考えを超えた議論を行い、委員会としても、通常の情報公開手続きでは取得できない黒塗りになる部分を取った資料の提出も可能となり、証人喚問や現地調査を行い、結果として土地取得を不当と判断した事。事前の準備のため議員間討議も行い、100条委員会を通じ市長の監視機関としての議会のあり方が認識させられたとの事でした。

次に、井上氏から附属機関への参画と監視機能として和歌山市議会での取り組みについて紹介されました。和歌山市議会は現在26の附属機関に参画しており、参画の理由として、執行部は事前に一定の理解が得られるとの観点から、議会はいち早く行政の方向性が把握できるとの観点から行われていたが、平成23年の地方自治法改正で、附属機関への参画の見直しの検討が項目に上がり、市議会議員と規定されるものには参画を、また、条例等により参画しているものは協議会を立ち上げて検討する事になっているが、ただいま検証中との事でした。

嶋崎氏は、地方創生に関する政策提言として、日田市の取組について報告がありました。各自治体が纏める事を要請された「地方版総合戦略」について、そのままにしておく、成案のみが提案されかねず、議会は蚊帳の外に置かれるのではとの危機感があり、基本目標に基づき常任委員会毎に現状と課題、方向性をビジョンとして示し、議会報告・意見交換会を全市内20地区を4班で説明し、意見の収集を図り、班別会議で整理、常任委員会別に提言案を協議し、議快運営委員会、議員全員協議会を経て、地方創生に関する提言を市長に渡し、実際の総合戦略に反映した「日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が完成したとの事です。更に総合戦略の成果を検証していく必要がある為、議会の監視権は果たされると考えるとの意見表明でした。

佐々木氏からは、住民の目で行政をチェックするために議会はある。課題があるからテーマになる。百条委員会については、特定の個人を対象としたものが多いが、行政執行に対する姿勢をどう考えているか、また集中審議方式で中身がわかるという方法もあるのではないかと指摘もあるとの意見表明の後、日本の地方議会のあり方は特異であり、ヨーロッパ的には二元代表制になっていない。執行機関に議員が入っていく事の是非や、議会からの提案の姿勢と監視権との関係性等課題は多くある。議会の役割は①団体自治の意思決定②監視者、市民の代表③議案提案権④意見集約者という多方面の役割が混在している

との説明の後、

一般質問、代表質問の有効性について質問され、佐賀氏は有効だと思う。個々の議員の提案である場合が多いので有効との見解を示されました。

井上氏は最大会派の提案は有効との視点を示されました。

嶋崎氏は、政策提案が求められている。大分県中津市議会では毎回議員間討議を行っている、との見解を示されました。

佐々木氏は最近課題となっている政務活動費について、そもそも地方自治法第 100 条に政務活動費を使って監視権を実態化するためのものとして謳われており政策提案をサポートする費用に充てるべきだとの指摘をされました。また、法制局の仕組みを作っていくべきだ。政務活動費を公共的な使い方を模索すべきだ、と主張されました。

また、議会報告会、意見交換会を地区別に開催した実例は？との問いかけに、嶋崎氏は、政策提言を行った際、20 箇所、400 名の参加があったとの事でした。

佐賀氏はワールドカフェ形式で考えている。市民と大学生の協力で各テーブルでやっている。との返答があり、

井上氏は、事業、予算の施行状況に関するものになりやすく、議会が行うものではないとの判断から、和歌山市議会では行っていないとの意見表明がありました。

佐々木氏は、議員定数について、元々プロシアの法律を転用してきているので、妥当かどうかの議論は課題ありとの指摘でした。

通年議会についての質問で嶋崎氏は現状の運営で支障がなく、必要がないとの判断で、

井上氏は、当局への監視は必要であり、現在検討中との事でした。

佐賀氏は、見せる部分でのメリットはあるが、実態としては休憩中の継続審議等で通年化しており、現状で特に問題はないとの指摘でした。

佐々木氏は通年議会は年がら年中、議会を行っているということではなく、会期制も可能ですとの考えでした。議会招集権や、専決への歯止めとしての通年議会の検討も必要ではとの指摘でした。

課題討議の議論を拝聴していて、感じた事ですが、パネリストの事例報告についての議論をもう少し深める討議が必要だったのではと思いました。前日に参加者への質問事項の聴取が行われましたが、事例報告の課題について知らされておらず、全く別のテーマへの質問になった事は、残念でした。事例報告の議会は、それぞれ、単一のテーマで一つの成果をあげている先進議会ですが、別のテーマについての議論を深めるためには、あらかじめ深める議論のテーマを確定して、対象の先進事例に合った議会の報告要請を行うべきだと思います。

今や、多くの議会で議会基本条例を策定し、議会改革の流れが進んでいます
が、本研究フォーラムがその進捗度合と、本市の改革がどのくらいのところに
位置づけされているか確認できる、重要な会議だと認識しています。事例報告
のあり方が少し、気になったところです。本市議会の取り組みが先進事例に挙
げていただける様、しっかり頑張ってまいります。 以上。

第11回全国市議会議長会研究フォーラム後の現地視察について
下記の通りご報告致します。

公明党 大塚 英一

記

第11回全国市議会議長会研究フォーラムについての報告は溝口議員よりありましたので私からは現地視察についてご報告致します。フォーラムの終了後の現地視察はA～Hまでのコースがあり、私はCコースの静岡市・島田市の地場産業と活用と地域子育て支援活用事例の視察に参加させて頂きました。

まず最初は「静岡ホビースクエア」に行きました。静岡は世界を代表する模型メーカーが数多く集まっておりその由来についてご説明頂いたのですが、その歴史は古く徳川家康公が駿府に浅間神社の建立に際し腕利きの職人を住まわせその職人達が気候や風土のよい当地にそのまま住み着いた為、職人が多くその職人たちが腕を競ういあうことによって今日の地位を築くに至ったと説明がありました。ホビースクエア内にはガンプラや戦艦、空母など多数の模型が展示され改めてその技術力の高さを目の当たりにしました。

ホビースクエアの後は「駿府匠宿」(すんぷたくみしゅく)へ行きました。先程ホビースクエアでも説明しましたように同上の由来で伝統工芸が盛んで様々な展示されており、ゆっくりお茶や飲食ができるお店や実際にその伝統工芸を体験できるコーナーなど来館された方を飽きさせない工夫がなされてありました。その中でも私が興味深く感じたのは地域の小学生から実際に作ってほしいアイデアを募集しその中で選ばれたものを職人の皆さんが作り上げ実際に形にする企画「あったらいいな静岡【夢】デザインコンテスト」の作品が展示されていて、小学生ならではの面白い発想が職人の皆さんの手によって現実のものとなりとても面白い企画で本市でもこのアイデアは活かせるのではないかと感じました。「駿府匠宿」の後は島田市に向かいまして中心市街地交流拠点施設へ行きました。この施設は島田市の中心地の活性化を目的に、「中心市街地交流拠点施設」として整備されました。場所はJR島田駅北口から200mの好立地で、民間複合ビル「おび・りあ」の1階一部と2階から4階までを市が取得し、多彩な遊びが体験できる「こども館」や計画蔵書数23万冊の「島田図書館」、さらにまちなか情報発信拠点となる「FM島田サテライトスタジオ」を配置している施設です。視察では主に「こども館」と「島田図書館」を視察しそれぞれ説明を頂きました。まずこども館では子供たちが遊びを通じて運動する機会を増やしていくことを念頭に屋内で体を動かすことのできる遊具について検討した結果、安全性も高く親子で一緒に楽しめる、デンマークの最新体育理論に基づいて

開発された大型運動遊具のボーネルンド社の製品が置かることになったと説明がありました。視察当日も子供たちがたくさん来ておりみんな思い思いに体を動かして遊んでいました。説明によると雨の日などは特に来館される方が多く、時間制限を設けることもあるとありました。こども館のあとは島田図書館を視察致しました。ここでは2階が一般書のフロア、3階が児童書のフロアとなっており視察当日もたくさんの方が利用されていました。この図書館での取り組みとして先の市議会定例会にて村岡議員が一般質問されていた「読書通帳」が設置されてありました。これは手書きで記帳するタイプではなく、銀行のATMのように通帳を入れると記帳されていくタイプのもので子供たちに人気がありよく利用されているとのことで、他地域からの視察や問い合わせなども多いとのことでした。もう一つ面白い取り組みとして雑誌スポンサー制度がありました。これは平成23年度から事業開始された取り組みですが、企業・団体からスポンサーとして一定期間（原則として1年以上）、新刊雑誌を図書館へ提供していただくというもので図書館は提供された雑誌を閲覧コーナーにおいて利用に供するとともに、当該雑誌の閲覧用カバー及び雑誌架扉にスポンサーの名称と広告を掲示する。現在の実績は、スポンサー数36事業者、雑誌数は62誌と説明がありました。以上がCコースの視察内容でしたが、その中でも島田市の取り組みは大変興味深く本市も参考にすべき点多くがあるように感じました。実際にこの島田市の一連の地域子育て支援の取り組みについては多くの視察や問い合わせが来ていると説明がありました。今回の視察で学ばせて頂いたことを活かして本市の更なる発展に繋ぐことができるよう努めてまいります。 以上